



東京2025デフリンピック大会エンブレム

東京2025デフリンピック 大会エンブレム決定!!



わあ！素敵なデザイン！
もし記念グッズが販売されたら
何か欲しいかも！？楽しみ！

第23回手話を考えるフォーラム終了!!

9/2.3(土日)、数年ぶりに宿泊を伴う
フォーラムが八千代市秀明大学にて開催
されました！

第2分科会は県サ連で企画！1日目は
聞こえる人グループには「ろう者あるある」を、
聞こえない人グループには「聴者あるある」を
それぞれ出してもらい、それに対して意見交換
をおこないました。

聞こえない人と聞こえる人に分けてのグルー
プ討議では、日ごろは言いづらい内容で大盛り
上がり。グループごとに発表という形なので、
本音がどんどん出ていました。

1日目の成果を受けて2日目は、どうしたら誤
解を生まないように出来るか、というテーマで
話し合い。「相手が自分とは違う捉え方をしてし
まうことがある、という共通認識を持つこと。」
また、「きちんと質問して、確認をすること。」そ
して、「聞こえる人はもっと聞こえない人と交流
し、たくさん話をする事」などの意見がありま
した。皆さんのサークルでも話し合ってみては
いかがでしょうか？



例① ろう「聞こえる人は(手話が分からなくても)
わかったふりする」

⇒聴者「何度も聞いたら悪いかと思って」「傷つけ
ないように気を使った」

⇒ろう「わかったふりをする方が、ろう者に対して失
礼だ」と感じる。「分からない」とはっきり言って欲しい。

例② 聴者「(聞こえない人は)音を気にしない」
⇒ろう者「気にしてるよ。すごく気を使ってる。でも
聞こえないから、そういう時は教えて欲しい」

司会者コメント

参加者の皆さんがろう者、聴者のそれぞれの立場
で、本音を伝え合えたことが良かったです。普段話
し合うことが出来ない内容を、皆で話し合う。これこ
そ、「手話を考えるフォーラム」の意義だと思います。
素晴らしい会でした。



今年は各分科会に県サ連からの助言者が出てたので、それぞれに感想を聞いてみたよ♡

第1:ろう重複・福祉事業 『グループホームとは』

認知症の高齢者のグループホームと、障がい者のグループホームがありそれぞれ違うことや、認定調査のロールプレイをして、ろう者の様子を引き出す事が難しいなど色々な気づきがありました。地域のサークルで出来ること?! そうだ、老後についてろう者に聞いてみよう! 参加者の意見もたくさんあり良かったです。

藤井

第2:サークル 『ろう者と聴者何が違うの?』



「ろう者って...」「聴者って...」とお互い思っていた事が環境の違いにより捉え方が違い、誤解を生じさせてしまうことが度々あるとわかりました。誤解を生まないためにはどんな工夫が必要かという事も話し合えました。大切なのは、文化や育ってきた環境を理解し分かり合おうとする事、共通認識を持つ事です。今回のテーマが今後のサークル活動の参考になれば、と思います。

渡邊

第3:システム 『まだまだあるちばの地名手話』

『ちばの地名手話辞典』の中から、手話の語源やそれにまつわるお話をたっぷりと聞かせていただきました。ユニークでウソのような本当の話にビックリ! 同時に、先人たちがつないできた貴重な手話は、今後も大切に残していかなければならないと強く思いました。そして、まだまだ他にも地域に埋もれた手話があるはず。それらを掘り起こすために、サークルとして何が出来るのか?…考えさせられる2日間でした。

小高

第4:医療 『受信時等のコミュニケーション方法は...』

命やプライバシーに関わる現場は不安要素がいっぱいでした。また、聞こえない人のプライバシーをサークル員の不注意で侵害してしまわないよう気を付けようとも思いました。病院によっては手話通訳のみならず、様々な方法で工夫されているところもあることを知り、知恵や協力などサークル員としてもできることが何かあるかもしれないとワクワクしました。

岩淵

来年は北総支部! どこで開催かは今後の動きを要チェック!



サークル紹介

手話サークル希望は、現在会員数 40 名。若干平均年齢は高めですが、最近は大学生や海外からの移住者(ろう者)が入会しました。ちょっとですが若返り、多彩な文化にふれることができます。会員は随時募集中です。

手話サークル希望は「会員相互の親睦を深め、手話を通じ聴覚障害者との交流を図り、聴覚障害者の福祉に寄与し、ボランティア活動をする事」を目標に 1992 年(平成 4 年)に設立、昨年創立 30 周年を迎えました。

昨年 9 月にアクア・ユーカリにて、佐倉市に深い関わりのある川根紀夫氏をお迎えし、ささやかながら式典を開催することができました。

30 周年記念式典
思い出の 1 枚



30 周年記念式典

今年の 2 月にはろう協、通研佐倉班、コアラの会と当サークルが協力し、市内で映画「咲む」の上映を開催しました。大盛況のなか終えることができました。

「咲む」上映会



「咲む」実行委員会

特集 11 号
希望 (のぞみ)
の巻~♪



学習運営では、サークル員は A 班と B 班に分かれ、隔月で学習企画を担当します。学習は交流に重点を置き、ろう者も聞こえる人も皆が楽しめるよう各班趣向を凝らしています。

また、軽スポーツ、ハイキング、新年会などの行事を行い、会員の親睦を深めています。クリスマス会はろう協、コアラの会、通研佐倉班と合同で開催し、交流を深めています。

その他の活動として、市内小中学校の福祉教育で手話教室のお手伝いや、市主催の市民活動発表会などに参加しています。

学習会



ボランティアフェスタ



コロナ禍では会場が使用できないため、休会になったり、隔週で班ごとの活動を余儀なくされてきました。今は会員皆で活動ができるようになり、より一層にぎやかに楽しく元気に活動しています。

最近ではろう者や手話を題材にしたドラマが放送されたこともあり、手話に興味を持つ方が増えています。これをきっかけにサークルで手話を学んだり、ろう者について理解が深まればよいと感じています。

※サークル紹介ページのナンバーに誤りのご指摘がありました。111 号 No7⇒No9 112 号 No8⇒No10 申し訳ありませんでした。訂正しお詫び申し上げます。今後もかわら版をどうぞよろしく願いたします。

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久